

信用格付概要書

2011年 3月28日

【信用格付業者】

株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付） 第6号
 なお直近一年以内に講じられた監督上の措置は、特にありません。

主任格付アナリスト : 山本 貴恵子

信用格付の付与について

代表して責任を有する者: 神林 尚

【信用格付】

信用状態に関する評価の前提及び格付符号とその定義につき、格付付与方針 (<http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/RatingDeterminationPolicies.pdf>)、および格付符号と定義 (<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html>) をご覧下さい。

格付付与日	2007年11月 7日
信用格付	短期格付 a-1+
備考	—

【格付関係者】

アレンジャー	千葉銀行
スポンサー	千葉銀行

(注) 格付関係者として金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に定められている組成に関する事務の受託者、特定融資枠契約の締結者について、R&Iが本件において各々アレンジャー、スポンサーに該当すると判断したものです。

【格付対象に関する情報】

発行体	ワイヤス・ファンディング・コーポレーション東京支店
名称	資産担保型コマーシャルペーパー
発行金額	50,000,000,000円
通貨	日本円
裏付資産	—
劣後比率	—
発行日	—
最終償還日	—
クーポンタイプ	—
利率	—

【利用した情報】

主要な情報	情報の品質を確保するための措置	情報の提供者
案件関連契約書	信用格付業者への表明保証等	アレンジャー

【信用格付の前提、意義、及び限界】

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

【格付方法】

格付対象の評価において、R&Iは主に以下の格付方法を用いました。

	項目
2010年9月	第1章 総論
2010年10月	第2章 各論 仕組みに関するリスク
2010年9月	第4章 各論 キャッシュフローリスク 第7節 裏付資産及び仕組み関係者等の信用格付を基にする分析方法 第9節 ABCP・ABLプログラムの分析方法
2010年9月	第5章 各論 モニタリング 第1節 仕組み関係者及びポートフォリオの構成銘柄の信用格付に関するモニタリング

上記の格付方法は以下のホームページに公開されています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/sf/about/methodology/index.html>